

R 7 年度の主な取組

1 地域公共交通の担い手確保

地域公共交通の維持に不可欠な
担い手の確保に官民連携で取り組む

◆ 人材確保・育成に対する支援

- 求職者向けマッチングイベントの開催や「運輸業界」相談窓口の設置（196万5千円）企画振興部No.1
- 他都道府県から移住してバスドライバーに就業する者に対し、移住経費を支援（1000万円）企画振興部No.1
- 第二種運転免許の取得を支援（バス：2338万6千円の内数、タクシー：660万円の内数）
- ドライバーへの顕彰や退職自衛官・消防士へのアプローチ
- (新) ● 職業体験提供企業の情報発信及び職業体験支援コーディネーターの設置等（1759万7千円）産業労働部No.21

4 脱炭素化の推進～公共交通への転換～

自家用車依存から脱却し、
公共交通への転換を促進

◆ 公共交通の利用促進に向けた取組

- モビリティ・マネジメントを推進

◆ 環境性能に優れた車両の導入や充電インフラの整備

- 電気バスの導入を支援（R6.1補正 8550万円）
- しなの鉄道(株)の車両更新を支援 企画振興部No.7（1億5560万4千円）
- 急速充電器の設置経費を支援（R6.1補正 2385万円）環境部

2 持続可能な地域公共交通ネットワークの構築

行政の主体的関与により県民生活に必要な交通ネットワークの構築・維持

◆ 地域鉄道路線の維持・安全性向上・利便性向上・利用促進等

- (新) ● しなの鉄道(株)が実施する緊急修繕を支援（2億4266万6千円）企画振興部No.7
- 地域鉄道の安全性を確保するため、事業者が行うPCマクラギ化等の設備整備を支援（3億4780万8千円）R6.1補正、企画振興部No.7
- JR大糸線の本格的な利用促進等を実施・プロモーション事業、臨時バス増便事業（1884万3千円）企画振興部No.8

◆ 広域的・幹線的なバス路線の維持・確保

- (拡) ● 広域的なバス路線のデータ収集や品質保証の具体化に向けた地域別部会の伴走支援を実施（1618万2千円）
- (新) ● バス路線に対する新たな支援策の構築（R8予算化を検討）
・通院・通学・観光の移動の確保のため、路線・ダイヤの見直しを行うバス路線を支援
- (拡) ● 県内高速バス路線の確保・充実（1億2281万5千円）企画振興部No.3
・長野・飯田間を結ぶ「みずハイウェイバス」を実証的に増便し、当該運行を支援（4⇒7往復便）
- 幹線バス路線の維持・確保
・運行欠損費等を支援（1億9296万4千円）
・県有民営バス車両の導入（3億374万9千円）企画振興部No.2

◆ 「交通空白」の解消

- (拡) ● 「交通空白」の解消を図るため、新たに自家用有償旅客運送に取り組むNPO法人等を支援（1000万円）企画振興部No.4

3 利用しやすい地域公共交通の実現

利便性の向上を図り、
「利用したくなる」公共交通へ

◆ キャッシュレス決済環境の整備推進

- (拡) ● 路線バスへの県下統一地域連携ICカード導入
・地域連携ICカードの導入を支援（1億7542万3千円）企画振興部No.5
- 県下統一カード発行に伴う体制の構築（3977万9千円）企画振興部No.5
- サブスクリプション型サービス等の導入の適否検討

◆ 情報提供環境の整備

- (新) ● 自家用車から公共交通への転換を図るため、オープンデータを活用したバスロケーションシステムを整備（1063万4千円）企画振興部No.6
- 経路検索サービスに路線バスの情報を掲載するため必要となるデータを整備する研修会を開催（250万円）企画振興部No.6

◆ バリアフリー対策の推進

- 鉄道駅のバリアフリー設備整備を支援（63万3千円）
- UDタクシー導入を支援（660万円の内数）

◆ 観光MaaSの実装に向けた取組

- (新) ● 旅行者の利便性向上やデータマーケティングを推進するため、信州観光MaaSの推進体制を構築（1615万8千円）観光スポーツ部No.3

- 日本版ライドシェア等の導入促進
・タクシー供給不足対策連絡調整会議等を通じて、情報共有や調整等を実施